

花巻ファーマー

手作りの暮らしから育つ「ひばり農園」の無農薬野菜



及川 芳道 さん
(東和町前田 45歳)

●ひばり農園
【場所】東和町前田4-39
【問い合わせ】☎080-2843-8306

棚田の広がる東和町の小山田地区。ここで無農薬農業にこだわって野菜を育てているのは、及川芳道さんです。宮城出身の及川さんは、東京での会社員生活を経験後、農業に転向。「食べ物やものを手作りする暮らしをしたいと考えたときに、農業への道を選びました」と振り返ります。地元宮城や、縁あって移住した東和での農業研修を経て、平成27年に自身の「ひばり農園」をスタートします。



ひばり農園の無農薬野菜。旬のものをセットでお届けする

を思い浮かべるような品種を育てています。また、りくう132号の米こうじと、もち豆を使ったみそをはじめ、塩こうじ、ニンジンジュースなどオリジナルの加工品もインターネットで販売しています。「買ってくれた人の反応がモチベーション」と微笑む及川さん。「農作業だけでなく、今の環境を生かした自分の好きな時間を過ごし、できる範囲で暮らしを手作りしていけたら」と目を輝かせていました。

広げよう活動の輪

市民活動団体紹介

お酒で悩む人の手助けをしたい
NPO法人 いわて断酒会

NPO法人いわて断酒会は、アルコール依存症から回復したい人などを対象に、同依存症に関する正しい知識の指導や社会復帰とその維持に向けたサポートを行う団体です。

同団体は、主に会員が集う例会を月2回開催。会員同士で自身の体験を話しながら断酒継続につながる支援をしています。また、県内の病院に入院している同依存症患者を対象に出張講演を行ったり、SNSで情報発信を行ったりするなど、断酒生活の勧めと回復する喜びの啓発活動を行っています。

「この団体のおかげで自分自身救われたので、次は自分がお酒で悩む人を救っていきたい」と意欲を見せる会員の皆さん。「同依存症は命に関わ



1 会員の皆さん 2、3 例会の様子

る危険な病気。1人でも多くの人がこの病気から立ち直れるよう、活動を続けていくことが私たちの願いです」と活動の目標を語っていました。

【問い合わせ】
NPO法人いわて断酒会
会長理事 成島 開峰さん
(☎22-5472)

市民生活コーナー

高齢者の 自宅売却トラブルに注意！

■どんなトラブルがあるの？

○1人暮らしの自宅に突然不動産業者が2人で訪ねてきた。自宅を売るよう勧められた。夜10時過ぎまで居座られた。売っても自宅に住めると言われ契約書にサインしたが、高額な家賃を取られると聞き、解約したい。買い手が待っているから今が売り時だと言われ、書類

■注意することは？

○自分が所有する住宅を不動産業者に売却した場合、クーリング・オフはできません。よく分からないことや納得できないことがある場合は、解決するまで契約しないようにしましょう

■問い合わせ・申し込み

○新館市民生活総合相談センター(☎41-3550)へ

にサインしてしまつた。だがその後、相場価格よりもだいぶ安い金額で売つたことが分かった。解約したいと申し出たら違約金を請求された

○契約内容をよく理解しないまま安易に売却の契約をしてしまうと、今後の生活に大きな影響が生じる可能性があります。特に高齢者は住む場所が見つからなかったり、解約の際に発生する違約金の負担で生活資金が少なくなったりする場合があります。1人で判断せず周囲に相談しましょう

健康コラム

COLUMN:Health

今こそがん検診を！ ～コロナ禍でも、がんは減らない～

新型コロナウイルス感染症が流行してから約2年経ちましたが、未だに猛威を振っています。自粛でがん検診を控えている人もいるかもしれませんが、この間にもがんは消えることなく姿を隠して成長し続けています。

●受診者数の減少

日本対がん協会によると、令和2年のがん検診受診者は前年より約173万人も減少し、割合にして3割も減少したといえます。

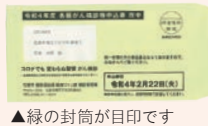
本市でも、胃がん・肺がん検診で約1000人減少するなど、全てのがん検診で受診者が減少してしまいました。

●未発見がんは1万人！？

新型コロナウイルス感染症による受診控えにより、検診で早期発見できるはずのがんが発見されず、自分ががんだと知らないままの人が約1万人いるといわれています。がんの発見が遅れて進行がんに移行してしまうことで、治療も難しくなり体に大きな負担がかかってしまいます。そのため、定期的な検診が必要なのです。

本市では、2月上旬に令和4年度のがん検診申込書を郵送しています。申込期限は、2月22日(火)です。

来年度も検診会場では感染対策を取って実施します。これまで、「コロナだから…」という理由で受診を控えていた人も、ぜひお申し込みください。



▲緑の封筒が目印です

【問い合わせ】健康づくり課(☎23-3121)



地域おこし協力隊

活動場所が決まりました

・地域資源を活用した「むらづくり」による
シティプロモーション担当 坊迫 舞香



▲田瀬湖でワカサギ釣りをしている様子。ワカサギ見事にゲットしました！

皆さんお久しぶりです。広報はなまき令和3年10月15日号以来の掲載となりました、「ぼうまい」です。花巻で初めての冬を迎え、雪国出身でない私は雪が降るたびに大はしゃぎしています。

さて、協力隊の活動ですが、夏はキャンプ、冬はワカサギ釣りが楽しい田瀬エリアを中心に活動することに決定しました。田瀬湖オートキャンプ場の目の前にあるレイクビューの空き

家を、サウナがメインのゲストハウスにするべく、奮闘しています。田瀬湖に遊びに来た人が軽食と飲み物をテイクアウトできるカフェも併設予定です。今は壊しているのか作っているのかわからない状況ですが、雪解けと共に本格的にリノベーションをスタートします。

経験ゼロで本当に完成するのか不安ですが、楽しんでがんばります。ぜひ、「ぼうまい村」に遊びに来てください。お手伝いも大歓迎です！